

## 第7回しばれセミナー「医原病としてのB型肝炎 - 臨床検査と医療安全の関わり-」終了 生涯教育研修部長 三浦 玲子

平成23年2月5日(土)北大医学部臨床大講堂において、第7回しばれセミナーを開催いたしました。ここ数年、吹雪のために交通網が乱れ、講師や参加者の集まりを心配することが続いておりましたが、久しぶりにお天気に恵まれた分、寒さの厳しい日でした。

今回は医療安全をベースに考えた「しばれセミナー」です。採血業務に携わる臨床検査技師が増えていることや、薬害エイズ・C型肝炎訴訟に続く集団予防接種によるB型肝炎訴訟に結論が見えたことから、医学と医療と社会情勢を意識して「医原病=医療が生み出した病気」という言葉を使いました。

分子標的治療薬や抗癌剤・免疫抑制剤によるB型肝炎ウィルスの再活性化肝炎から、ウィルス感染既往者でHBc抗体やHBs抗体保有者の肝細胞や単球の核内にウィルスDNAが存在するオカルトHBVが知られてきました。肝炎ワクチン接種者は再活性化の心配はありませんが、不顕性・顕性感染者は可能性があります。

(写真:左から三浦技師、伊原技師、樋口技師)



これまでの常識から少し違った視野が出てきているため、HBV予防対策に努めてきた血液事業の歴史的経過とこれからの課題を、北海道赤十字血液センター入職時より長年取り組んでおられた伊原弘美技師に話していただきました。日本赤十字社の取り組みにより段階的に陽性者が少なくなっている事実と、これだけ取り組んでいても感染が無くならない事例の解析から、出荷する基準値の問題と供給量のジレンマが見えて身につまされました。

続いての樋口竹広技師の講演は、医原病に重点を置いた内容を話していただきました。HBV感染から肝炎発症、肝硬変のステージや保因者、感染経路など同じ肝炎を起こすHCVとの違いなど非常に分かり易い話でした。今回の話のメインは肝炎多発地帯のことで、検診や聞き取り調査の困難さ、感染経路が分かっているながら沈黙を続ける医学会の対応など、公害病裁判などで見た景色を思い出させて非常に気持は重くなりましたが、感染予防の手立てがわかり自分たちから医原病を出さないよう取り組める希望が持てたセミナーでした。

### ◇ 平成23年度会費の口座振替は2月28日です!! ◇

日臨技会費の払込方法が平成23年度より口座振替に移行することは、様々な機会を利用して会員の皆様にはお知らせしてきましたが、口座登録していただいた方については、いよいよ2月28日に口座引き落としが実施されます。日臨技会費10,000円と北臨技会費5,000円の合計15,000円(新入会の場合は18,000円)です。口座の残高は大丈夫でしょうか?ご確認願います。(残高不足の場合は3月にもう一度振替日が設定されています。)

今回コンビニ払いとなる会員の皆様は速やかに最寄のコンビニでお支払い下さい。また賠償責任保険の登録がお済みでない方は、登録用紙に必要な事項をご記入の上、日臨技事務局へ送付して下さい。なお、保険はAタイプをお選び下さい。

ご不明な点がございましたら北臨技事務局へお問い合わせ下さい。

### ◇ 北海道医療技術者団体連絡協議会パネル展終了報告 ◇

平成22年度北海道医療技術者団体連絡協議会主催のパネル展(道民にサービスする医療技術者団体展)が2月9~10日、道庁ロビー展示場で開催されました。北臨技では感染防止の基礎知識のパネルを新たに作成し、エキノコックス症と合わせて市民の皆様へ活動をアピールいたしました。寒い時期ではありましたが約300名の来場者を迎え各団体の方々も熱心な質問などに対応し日頃の活動などを理解していただくには大変よい機会であったと思います。

### 平成22年度第2回定期総会

日時:3月5日(土)14時30分~16時  
会場:市立札幌病院 2階 講堂  
札幌市中央区北11条西13丁目

### 日臨技総会委任状についてお願い

今回の日臨技総会は定款改正のために3/4の出席が必要となります。既に多くの会員皆様から委任状をご提出いただいておりますが、欠席予定でまだ委任状を出されていない方は3月10日までに北臨技事務局にお送りくださるようお願いいたします。

### § 会員手続きの提出先 §

変更届・退会届 → 北臨技 (FAX 011-786-7073)  
入会申込書・口座登録用紙  
⇒ 日本臨床衛生検査技師会  
〒143-0016 東京都大田区大森北4-10-7

### …求人情報…

- 1) 網走市 病院 正職員 検査全般 年齢不問
  - 2) 帯広市 クリニック 正職員 検査全般・腹部エコー
  - 3) 帯広市 病院 正職員 生理全般・輸血払出 経験不問
- ※詳細は北臨技事務局までお問合せください